



# 比例650万票以上の得票で5議席確保を 参院選活動交流ニュース

No 7 2010年3月25日 日本共産党国会議員団東海ブロック事務所 名古屋市中区新栄三丁目12-27 (電話) 052-264-0833 (FAX) 052-264-0850

## ブロックいっせい草の根宣伝・総行動デー 606ヶ所で党支部・後援会が宣伝、ポスター、対話

### 静岡

54支部、地方議員・候補者29人をはじめ、171人が参加して157ヶ所で宣伝しました。

渡辺浩美選挙区候補は浜松市の4カ所で街宣。同行した地区副委員長が24人と対話し、「こういう話は聞かないといけない。みんな出てこないけど聞いていますよ。共産党がんばって」と激励されました。

団地で宣伝していると2人が窓を開けてくれ、ビラを渡すと、「がんばって」と声をかけてくれました。建物の陰ですっと聞いている男性もいました。

静岡地区では、池野もとあき葵区県議候補が支部とともに街頭宣伝。演説を聞いた男性は「総選挙では政治を変えたいと思い、民主党に投票したが、カネ मामれで国民のことを真剣に考えてくれるとは思えない。期待はずれ」と話していました。

### 三重



熊野市では中野たけし選挙区候補が山田実市議や青年後援会員と署名や宣伝、対話に取り組みました。2月末に開いた演説会に参加した人が、宣伝の音を聞いて出てきてくれ、「つどい」のようになりました。

いなべ市の大安西支部は、衣笠民子市議と一緒にポスターをはりながら対話。通りがかりの女性が缶コーヒーを差し入れてくれたり、別のところでは野菜の差し入れもあり、ポスターを37枚はりました。

桑名市では、石田正子市議や大山田支部員らが10ヶ所で街頭宣伝。大山田団地ではある男性が、「反対ばかりと違って最近の共産党はよくなった。共産党のことを報道しないマスコミも悪い。がんばって」と励まされました。志知では畑仕事をしていた夫婦が最後まで聞いてくれ、「がんばって」と激励してくれました。

県内77ヶ所で宣伝、17人に赤旗を増やしました。

### 岐阜

22市町村の137ヶ所で宣伝しました。

中津川市付知のスーパー前では10人ほどが最後まで聞いてくれ、東濃西地区の団地では車を



洗いながら聞いている人もいました。土岐市では訴えを聞いていた高齢の女性が「年寄りをバカにする政治や」と怒っていました。また、「政治はようわからんが、小沢も自民党みたいでアカン」という声も。

各務原市では、街宣場所の近くにいたお年寄りとの対話。「高齢者にとって大変な世の中だ」と口々に。

岐阜市華陽後援会は14人がセンターに集合し、3組に分かれて宣伝。鈴木まさのり選挙区候補や森ひさえ市議も参加しました。孫と一緒に演説を聞いてくれ、署名にも応じてくれた女性は、後援会に入会し、ポスターもはらせてくれることになりました。

### 愛知

県独自に20～22日の3日間を「全支部行動デー」としてとり組み、235ヶ所で宣伝、



35.2%の支部が行動しました。

もとむら伸子選挙区候補は名古屋市港区で山口清明市議や支部と宣伝、訪問。「民主党は、後期高齢者医療制度を廃止するって言ってなかったっけ。3ヶ月で入院患者を追い出すことはやめてほしい」との声も寄せられました。

一宮市の板倉正文市議(県議候補)は大和西支部とスーパー前で宣伝しました。